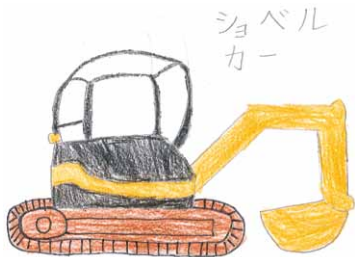


## 参加した子どもたちからの感想文（平成28年度 総合学習支援活動を通じて）

（一社）栃木県建設業協会は、社会資本の整備や災害時の出動などの活動を通じて、地域の皆様の理解をいただくため、建設業の役割の周知、建設機械の搭乗体験、測量機器による測量体験など参加者による体験活動を実施する「総合学習支援活動」を展開している。

本事業は平成16年度より実施され、県内の10支部（宇都宮・鹿沼・日光・芳賀・下都賀・塩谷・那須・烏山・安蘇・足利）の「青年の会」を中心として、本年度までに延べ104校 11,794名の方に参加いただいている。

参加いただいたみなさんからは、「普段なかなかできない貴重な体験ができた。」「建設業が我々の生活に必要な仕事だと認識できた。」「今後もこうした機会を設けて欲しい。」など、大変好評をいただいている。



わたしは、ショベルカーの運転をはじめたけれどできてよかったです。あと、高所作業車に乗って少しこわかったけれど、アトラクションみたいで乗ってても、楽しかったです。このような、車を使って仕事をするのがよかったです。



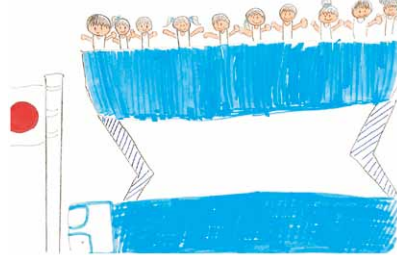
私は、体験をさせてもらったときに、ローラーやショベルカーを動かすことが楽しかったです。ショベルカーは、上下、左右に動かすだけなのでかんたんでした。ローラーは、少し工夫がありました。ふつうの車とちがって同じ部分にとってがついていました。ローラーで同じ所をなんかいも通るととてもかたくなります。きちょうな体験ができたのでよかったです。



先日の建設作業の体験で最初のアスファルト舗装のプレスの音が大きかったのでびっくりしました。ローラー車の重さがどれくらい重いのか気になりました。高所作業車は、12mもあるので高いと思いました。



ぼくは、総合学習支援活動で建設業の人たちと仕事をしたり、機械を動かしたりしました。一番楽しかったのは、機械で地面を固めたことです。建設業の人みたいにできなかったけれど楽しかったです。



私は、高い所まで行く乗りものが楽しかったです。とくに、国旗とうより高かったので、こころふんしました。その前にやった、石をこぶ作業が大変でした。その石をかためる時、友だちがすごく上手だったのでおどろきました。



このあひだは、仕事の様子や仕事をするための重機を見せていただき、ありがとうございました。建設会社のみなさんがどのようなことをしているかや、それにつかう重機の説明をしてくださり、ありがとうございました。ぼくは、小さいころから重機が大好きでしたが建設会社のみなさんがどのようなことをしているかは知りませんでした。しかし、この授業で知ることができました。ほんとうにありがとうございました。



ぼくは、はじめて重機に乗りました。ショベルカーは、レバー1本でやりましたが、タンクローラーは、ハンドルもスイッチも自分でやりましたので、とても神経を使いました。工業はとても神経を使い、大変な仕事なのでこれからもがんばってください。一生に一度になるかもしれない体験ができて、とても感謝しています。ありがとうございます。これからもがんばってください。



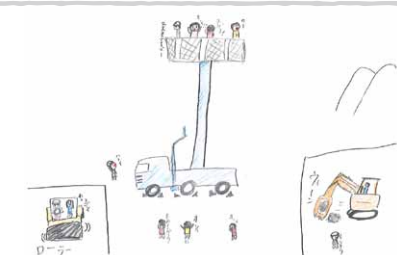
私は、建設の仕事のことは、あまり知りませんでした。説明を聞いたり、体験などをして、色々なことをしているということが分かりました。そして、体験をして、とても大変な仕事ということが分かりました。重いアスファルトをスコップで持ち上げることは重くて苦労しました。でも、とても楽しかったです。作ってくださったわたりろう下の通路は、前よりも、とても楽になりました。ありがとうございました。



この間は、アスファルトをしいて固めている所やショベルカーに乗せていただきありがとうございました。体験した土を平らにする機械は操縦するのがとても難しかったです。ショベルカーを操縦する時はもっと大変だと思ったら意外と簡単でおどろきました。私は、この体験をしてもっと知りたくなりました。これからもがんばってください。



ぼくは、4才くらいのころ工事する乗物が好きで、おじいちゃんや、しょっちゅう工事現場に行っていました。親に聞いたら「小さいとき、2〜3時間は工事現場にいたよ。」と言われたのでびっくりしました。そんなぼくだったので乗ることができてこころふんしました。また工事する人たちの気持ちが分かったので良かったです。建設業のみなさん、ありがとうございました。



わたしが一番楽しかったのは高車です。遠くの山なども見えて、すごく楽しかったです。ふだんは国旗や時計とうを見上げているのに、高車に乗ったら見下ろすほどに高くなっていて正直びっくりしました。クレーン車はユーフォーキャッチャーみたいでおもしろかったです。また今度もやりたいです。



今回の総合学習支援活動は、とても勉強になりました。まず一つは、建設業の大変さと大切さです。建設業は、河川の土木工事を始め、家を建てたり、道路を造ったり、災害復旧をしたりします。とても大変ですが、とてもやりがいがあります。今回は、重機に乗ったり、ショベルカーを操作したりしました。自分は、改めてお父さんの会社を継ぎたいと思いました。これからは建設業に対して、もっと意識したいと思います。

